

【お断り】「在京白聖会会報」第39号は「転送不要」での配達となっています。会員の住所変更を把握するためです。戻ってきた郵便物については、転居届連絡はがきを封入して再送させていただいております。

### 〈2015年度在京白聖会クラブ活動スケジュール〉

- 10月23日(金)「在京白聖会ゴルフ大会」  
(会場：ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎／茨城県龍ヶ崎市)〈1面〉
- 12月14日(月)・19日(土)「白聖芸術祭」  
(会場：文房堂ギャラリー／千代田区神田神保町)〈1面〉
- 12月19日(土)「白聖歌会」  
(宮澤賢治と五行歌の朗読会：文房堂ギャラリー)〈2面〉
- 平成28年2月7日(日)「歌の祭り」  
(会場：渋谷区笹塚／Blue-T〈ブルーティ〉)〈2面〉

※ご質問、お問い合わせは事務局 03-6404-6379 へお気軽にどうぞ。



昨年の最終日、12月19日に集まった皆さん

#### 会場地図



#### 文房堂ギャラリー

〒101-0051  
千代田区神田神保町 1-21-1  
文房堂ビル 4 F  
Tel: 03-5282-7941  
(会場直通：会期中のみ使用可能)  
Tel: 03-3291-3445  
(ギャラリー事務所)  
<http://www.bumpodo.co.jp/>  
※ギャラリーへはエレベーターを利用。  
〈アクセス〉「神保町」駅(東京メトロ半蔵門線、都営三田線、新宿線) A7出口、徒歩3分／JR「御茶ノ水」駅御茶ノ水橋口、徒歩10分

## 2015白聖芸術祭

年末恒例「白聖芸術祭」今年も集まれ！  
12月14日(月)・19日(土) 文房堂(神田神保町)で開催

第8回「白聖芸術祭」は、昨年と同じ神田神保町の文房堂(ぶんぽうどう)で開催します。昨年は絵画・書・彫刻・写真・朗読・歌唱など約70名、点数80点を超える出展・出演がありました。今期はさらに増える見込みですが、スペースは十分に余裕があります。多くの皆様のご出展、ご出演、及びご来場をお待ちしております。

#### 開催概要

- ▼開催日：平成27年12月14日(月)・19日(土) 11:00～18:30(最終日は15:00) ※搬入は12月13日(日) 10:00から。
- ▼会場：文房堂ギャラリー(上記)
- ▼出展料：一人2千円(2点まで)

# 在京白聖会報

第39号

平成27年9月26日

発行

岩手県立盛岡第一高等学校在京同窓会

在京白聖会

(事務局)

〒143-0015 東京都大田区

大森西 2-17-4-201

TEL (03) 6404-6379

FAX 直通 (03) 6404-6379\*00

E-mail: [hakua\\_office@pmp-jp.com](mailto:hakua_office@pmp-jp.com)

(<http://www.hakua.org/tokyo/>)

題字：浅沼 一道

で。2点以上は1点に付き、プラス1千円。グループ展出展料もこれに準じます。イベントは1時間2千円(準備、撤収時間含)。  
▼懇親会：搬入日の12月13日(日) 17:00から懇親会を行います。会費は4000円程度(会場未定)。  
▼申込締切：11月15日(日)。  
▼申込＆問合先：三浦千波さん(S50卒)。〒211-0035 川崎市中原区井田2の15の50  
電話(044) 797・2170  
※なお、詳細は申込み締切り後各出展(出演)者にのご案内します。



「歌の祭り」有志によるミニ・コンサート(2014.12.11)



会場展示風景



昨年の優勝は混成Aチーム(左よりS37卒・吉田亨さん、S20卒・鈴木昭久さん、S36卒・金山文彦さん、S36卒・間瀬隆男さん)。右端は戸田純さん(S48卒)

※実施要項等、詳細は担当幹事から参加申込者にご連絡いたします。

①郵送：〒244-0801 横浜市戸塚区品濃町525-1 東の街3-301 (宛先：間瀬) ②メール：[mase@ig8.so-net.ne.jp](mailto:mase@ig8.so-net.ne.jp) (宛先：間瀬) ③FAX：0422-27-7841 (宛先：金山)

▼実施要項等、詳細は担当幹事から参加申込者にご連絡いたします。

①郵送：〒244-0801 横浜市戸塚区品濃町525-1 東の街3-301 (宛先：間瀬) ②メール：[mase@ig8.so-net.ne.jp](mailto:mase@ig8.so-net.ne.jp) (宛先：間瀬) ③FAX：0422-27-7841 (宛先：金山)

▼申込先及び申込み締切り…  
①氏名 ②卒業年次 ③連絡先住所  
④メールアドレス、電話番号 ⑤チームの場合代表者氏名 ⑥送迎バス利用の有無を明記の上、10月2日(金)までに郵送、メールorFAXにて担当幹事までご連絡ください。(先着順)

#### 開催概要

▼開催日：平成27年10月23日(金)  
▼会場：ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎  
▼申込み先及び申込み締切り…

参加者募集  
10月23日(金)

ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎

在京白聖会ゴルフ大会

## クラブ活動報告&amp;ご案内

## 新年の歌の祭り

2016年2月7日(日)

2015年8月2日(日)、27名が参加し、渋谷区笹塚の中国茶レストラン「ブルーティ」で歌の祭りが開催されました。47年卒の新司会者を得て、参加者は毎回着実に伸びています。

## 開催概要

▼開催日：平成28年2月7日(日)  
11時40分～17時30分

▼場所：「ブルーティ」



歌の祭り (2015.8.2)

渋谷区笹塚1-61-8

※ホテルガル1階に併設

電話03-3337511474

▼アクセス：京王線、京王新線の笹塚駅北口(駅前の甲州街道20号線沿いに調布方面へ徒歩5分)

▼会費：5千円(食事、飲み物代)

▼申込み先：大内秀之(35年卒)

civ04580@rio.odn.ne.jp

〒245-0062

横浜市戸塚区汲沢5-30-5

電話：045-8643215

在京白聖レディス会  
7月11日(土) 開催

第11回在京白聖レディス会が、7月11日(土)、銀座の「SUNAMI(サンミ) 高松7丁目店」で開催されました。



在京白聖レディス会 (2015.7.11)

出席者は28年度から50年度までの15名。今回初めて参加された方もいます。

今年は、全員に高校時代から現在までの半生をお話していただくという趣向。「S30年代、一高か二高か悩み、女らしく育つには二高ではない」と結論を出して「一高に進んだ」というスピーチなど、印象的な話題が多く、大いに盛り上がりしました。

女性にとっても、一高で過ごしたことがその後の人生を大きく左右していたようです。

## 白聖歌会

## ネット歌会にリニューアル

白聖歌会は、平成27年度から在京白聖サイトの「クラブ活動」または「白聖応援団30」からリンクする掲示板「白聖歌会の部屋」を設置し、「ネット歌会」としてどなたでも自由に投稿できるようになりました。

投稿は五行歌、短歌・俳句・川柳・詩作など、短い作品ならなんでもかまいません。

また、白聖芸術祭では毎年、「白聖歌会」の作品コーナーを出展。最終日には「白聖芸術祭」会場において、朗読家・野口田鶴子さん(S40卒)とのコラボレーションで「宮澤賢治と五行

歌の朗読」を開催しております。

今年は12月19日(土)、午後13時から宮澤賢治の「水仙月の四日」と白聖歌会作品の朗読を行います。

## 白聖歌会の部屋

<http://9324.teacup.com/gogyouka/bbs>

## ア・ラ・カルト



イーハトーブ館ホールで、民族楽器ブサリテリ演奏の小木曾綾さんとのコラボで宮澤賢治の作品の朗読を披露した野口田鶴子さん

## 野口田鶴子さん(S40卒)

イーハトーブ館で賢治朗読会7月26日(日)、花巻市の宮澤賢治イーハトーブ館ホールで、野口田鶴子さんが宮澤賢治の作品を朗読。同館の夏期特設セミナー「心象スケッチを知っていますか？」の一環で、「すばらしい朗読だった」と多くの賢治ファンに絶賛されました。

## 玉澤健児さん(S40卒) 統括

田老の漁師・高屋敷絵画展7月26日(日)、玉澤健児さんが岩手の震災復興支援の一環としてプロデュースした「田老の漁師 田老を描く!」高屋敷絵画展が6月2日(火)から同7日(日)まで盛岡市の「盛久ギャラリー」で開催



昨年暮れの白聖芸術祭でデビューした玉澤カルテット(?)が、田老から来場した見学者などの前でミニコンサートを行い、絵画展を盛り上げた

されました。同展はオープン早々たいへんな反響を集め、「盛久ギャラリー」開館以来最高の入場者を記録。新聞やテレビでも大きく報道され、被災者や支援者を元気づけました。

## 伊藤馨一さん(S52卒)

石神の丘美術館で彫刻展伊藤馨一さんが岩手町の石神の丘の美術館で8月8日(土)から9月23日(水)まで「岩手町町制施行60周年記念(石に願いを)」伊藤馨一彫刻展」を開催。東日本大震災後は制作拠点を大船渡市に移し、追悼のため石仏の制作指導などを続ける伊藤さんは、オープニングのトークショーでも石に込めた深い鎮魂の思いを熱弁、集まった多くの聴衆を魅了しました。



オープニングトークで、石に込めた熱い思いについて語る伊藤馨一さん

## 2015 総会報告

## 立ち上がれ、白聖の健児

過去最高の354名が参加

日時：平成27年5月9日(土)

講演会15:00、総会・懇親会16:00

会場：東京ガーデンパレス(御茶ノ水)

平成27年5月9日(土)、東京ガーデンパレスにて、第47回在京白聖会総会が開催されました。今年は、過去最高の354名の方にお越しいただき、昨年に続いて大変な盛況になりました。

当日は来賓として、盛岡一高の平賀信二校長、白聖同窓会の谷村邦久会長、恩師として、川村祥平先生にご臨席を賜りました。



歌手の高橋研さん(S49卒)、佐々木収さん(H3卒)の豪華な共演も



メイン・イベントには恩師・川村祥平先生も出演

総会に先立つ記念講演会では、岩手県知事、達増拓也さん(S58年卒)が『復興の今、復興の未来』という演題で、東日本大震災から5年目を迎えた故郷・岩手の復興の現状とこれからについての講演を行い、続原田智子さん(S58年卒)によるヴァイオリン演奏と、大好評を博しました。

『立ち上がれ、白聖の健児』をテーマに掲げた懇親会では、平賀校長からのご挨拶に続き、首都圏で活躍する白聖同窓生の紹介を行いました。お笑い芸人のお侍ちゃん(H11年卒)、テレビ朝日アナウンサーの加藤真輝子さん(H16年卒)のビデオ出演に続き、歌手の高橋研さん(S49年卒)、佐々木収さん(H3年卒)が出演、お二人のヒット曲を披露。最後は会場の参加者も一緒に熱唱し、大いに盛り上がりしました。



最後は、今年のメイン・イベント、5年に一度の猛者踊り。昭和22年卒の故・吉田清志先輩の土人踊り誕生秘話の紹介映像に続き、『聞け、一高健児、魂の歌(ノナミサ〜J'ROCK)』を58年卒業メンバーが熱演、校歌斉唱まで会場が一体となり、盛り上がりは最高潮に達しました。

来年は昭和59年卒業の皆さんが幹事学年です。また、来年も皆様に『来で、良かった』と思っていただける総会・懇親会にして頂けることでしょう。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。(昭和58年幹事団一同)



総会幹事を担当した58年卒の皆さん。一年間ご苦労さまでした。



ヴァイオリン演奏の原田智子さん(S58年卒)



岩手の復興の現状について語った達増拓也・岩手県知事(S58年卒)



写真提供/小野寺隆文さん(H16卒)



写真提供/澤口たまみさん(S54卒)

当日は白聖同窓会の谷村邦久会長も訪れ、15:30から17:30まで、在京を含め多くのOBが校歌放吟を堪能しました。

## ア・ラ・カルト

## ●白聖校ホームカミングデー

第1回「白聖応援旗祭」(8月30日)同窓生相互の親睦および同窓生と母校との交流を深めるという趣旨で、8月30日(日)、第1回白聖校ホームカミングデーが行われました。内容は①校歌と応援歌を第1から第10まで放吟(こだわり第一原則)。②歌詞は省略しない(こだわり第二原則)。③可能な限り多くの応援旗でリード(こだわり第三原則)というもので、別名「白聖応援祭」。

## 在京白聖メディカルクラブ

## 交流の他に、健康相談や講師の派遣なども

二〇一四年、在京白聖人の医師、医療関係者を中心とした在京白聖メディカルクラブが発足しました。昨年および本年の在京白聖人会で「健康相談」コーナーを開設するなどの活動を始めましたが、どのような目的で設立され、どのような展望を描いているか、代表の柴孝也(S33卒)さんと事務局メンバーらに集まっていたいただき、お話を伺いました。(構成・山田武秋)

## ●在京白聖OBの医療関係者が集い交流を深める会

在京白聖メディカルクラブ設立のきっかけは柴さんの呼びかけですが、どうしてつくろうと思われたか。



柴孝也(S33卒・代表幹事) 医学会というのはたいへん狭い世界で、学会などを通じて専門分野の情報交換は活発に行われていますが、どの先生がどの高校の出身であるとか、そういった情報はリストもなく、お互いにほとんど知る機会がありませんでした。そんな中、たまたまあるところで日本医科大学眼科の志和利彦先生(S47卒)が同じ白聖同窓だということがわかり、別のところで、日本大学医学部循環器内科の國本聡先生(S57卒)も「あれ、おまえもか!」となりました。そこで、在京白聖会には医師や医療関係の仲間がたくさんいるはずだから、ク

ラブ活動の一つとして交流できる場があれば楽しいねということになり、呼びかけたのが始まりです。

國本聡(S57卒・事務局) 大学の垣根を越えたコミュニケーションはありませ



し、出身高校などの情報はいいですね。同じ大学の後輩でもわからなくて、会話を始めて初めて同じ白聖同窓だとわかることが多いのです。今回、医師や医療関係の仕事に従事されている方を対象に、在京白聖メディカルクラブの設立を実際に呼びかけてみて、こんなにもたくさんの方

白聖人がメディカルのフィールドで活躍されているということを実感しました。



志和利彦(S47卒・幹事) 柴先生が慈恵医大で白聖OB会や東北人会をやられていたとお伺いし

ました。私も東京に出て来て十五年になりますが、日本医科大学の中で岩手県出身の医

師や医療スタッフを集め、「田舎者の会」というのをやっていました。一緒に酒を飲む会なのですが、この交流を通じていろいろ勉強をさせていた

だきました。在京白聖メディカルクラブも、医師の枠を越え、ふだん知り合うことがないような白聖OBと出会い、お話することができずから、新しいコミュニケーションが広がるチャンスが増えていま

す。ここで出会った人脈をフルに活用できるという意味でも、私にとってこの会は大いに役に立っています。



志和成紀(S58卒・事務局) 私は在京白聖メディカルクラブのさまざまな案内や連絡を担当して

います。白聖OBの医師は在京エリアに200人以上います。そのリストには、実は在京白聖会の名簿に載っていない医師が大勢います。医師の中には、在京白聖会の存在を知らないから来ないというケースが多いのです。白聖OBの医師はいろいろなところにおいて、在京のリストにない医師を探す楽しみもあります。今年も新しく2名加わりました。

國本 若い会員をキャッチするのはメディカルのほうがだんぜん有利で早いですね。

志和(利) 一般の企業と違って



総会の日、ロビーで「健康相談」を行う國本さん

狭い業界ですからね。どこの誰々が岩手の出身らしいとか、どことこの高校OBといった情報はすぐに入る。ただ、今までそれを組織的に行う場がなかったということですね。

國本 ぼくらは、白聖OBと分かれれば学部に入った学生にも声をかけ、在京白聖会総会にも出席するよう声をかけていますから。今年もそれで19歳の1年生が一人、総会に参加しました。「誰々がどこの大学にいる」といった情報は学生同士のほうが分かっていきますから、次々に若い新しい仲間が増え、リストも整備されてきています。これに製薬会社や病院・薬局スタッフ、医療関係の出版社などを含めると、対象はさらに広がりますから、これからの在京白聖メディカルクラブはどんどん大きくなって行くと思っています。



座談会にご出席の在京白聖メディカルクラブの皆さん。左から國本聡さん(S57卒)、志和利彦さん(S47卒)、柴孝也さん(S33卒)、一戸裕子さん(S43卒)、志和成紀さん(S58卒)



一戸裕子(S43卒) 私は『実験医学』や『レジデントノート』といった基礎や臨床の医学書を

創刊するなど、医療系の出版社を始め36年になりますが、医師はほんとうにたいへんなお仕事をされていると尊敬しています。そんな医師の側に立ってサポートできればという思いで情報発信のお手伝いをさせていただいています。が、仕事の間ではいつも仕事の顔でしかお話できません。この会にお誘いいただき、初めて心を開いていろいろなお話を楽しくできるようになりましたから、とてもよかったと思っています。

**國本** 羊土社さんですよね。私はこの会でお会いするまで羊土社が一戸さんの出版社だとは知りませんでした。我々は学生時代、皆、一戸さんのお世話になっていたんですね。柴 私も知らないで原稿を書いていました。

機関を紹介して欲しいといったことだと思えますが。

**國本** 在京白聖メディカルクラブは、少しでも在京白聖会の皆様のお役に立てればと、昨年の総会からロビーの一角で「健康相談」を行っています。まだ周知されていないせいか、実際に相談された方は去年も今年も2名だけでした。

**志和(成)** 医師や病院の紹介ですが、これは症状を電話やメールだけで判断し、割り振るのはむずかしいですね。かといって名簿を公開するのも、個人情報保護法などがあってむずかしいですし…。

**國本** 皆さんが考えるよりも、電話口だけで診断するのはむずかしいのです。経験も必要です。すし、それを在京白聖メディカルクラブで行うというのは無理があります。ただ、相談を受けたらみんなに諮って紹介できるケースがあるかも知れません。ですから、そういう希望がある方は、とにかく気軽に事務局に相談していただければと思います。窓口としての役割は果たしたいと思っています。

●メディカルクラブへの期待  
在京白聖会の会員が在京白聖メディカルクラブにいちばん期待することは、病気の相談にのって欲しいとか医療

りにならないために」とか「メタボの解消」といったテーマで勉強会を開きたいというとき、講演者を派遣することはできるかもしれませんが、いってても、そういうことは我々から動くことはできず、要望がないとできないのですけれど。

**國本** そういった啓蒙的な活動であればご希望に添えますし、在京白聖会で企画していただければ協力することは可能です。

**一戸** 大学間を横断した医師のネットワークはこれまでなかったですし、加えて製薬会社など幅広い医療関係者が集まったネットワークは、まさに白聖のフィールドの大きさがあってできたことですね。

**志和(成)** この会は、営利目的ではないから、逆にいろいろな可能性があります。

**國本** 学生にとっては、もっと具体的なメリットがあります。研修医制度が変わって、今は入局しても出身校にはわずかしが残れず、関連病院に勤務するケースが増えています。そこに知っている高校同窓の先輩がいれば心強いですし、この会では、業界で雲の上の存在といわれる先輩医師とも気さくにお話できるチャンスもあります。

**柴** 大きな可能性のある白聖メディカルクラブを、ぜひ皆さんで育てて欲しいと願っています。よろしくお願いいたします。

## ア・ラ・カルト

●佐藤法雄(容齋)さん(S50卒)  
銀座・鳩居堂で新春に個展

佐藤(容齋)法雄さんが、来年の新春、平成28年1月5日(火)から10日(日)、銀座の鳩居堂画廊(4階)で「佐藤容齋書展―書・篆刻・立体書―」を開催します。時間は11:00から19:00(最終日は17:00)まで。佐藤さんにとって、夢の画廊での初個展、満を辞しての大舞台。正月はぜひ、銀座にお出かけ下さい。



●白聖四三会(S43卒)有志  
母校の啄木歌碑説明板を建立

母校の啄木歌碑は白聖四三会有志が中心になって2006年5月に建立されたが、今年5月16日(土)、その説明板が同じ白聖四三会有志によって建立され、除幕式が行われた。歌碑に刻まれた「露台(バルコン)」を解説し、上京した啄木が母校と青春を詠んだ心境も簡潔に記したものだ。母校にお立ち寄りの際は、ぜひ、ご覧下さい。



母校の啄木歌碑の前に建立された説明板

●紀章さん(S56卒)

SKY GRAFFITI 2015 入選

航空写真を白聖芸術祭に出展している紀章さんが、日本航空写真家協会が主催する第18回SKY



『ダーチャと日本の強制収容所』



た。迫力ある航空写真にいつも瞠目していたが、実力がプロにも認められたようです。

●望月紀子さん(S35卒)  
『ダーチャと日本の強制収容所』

イタリア文学研究家でイタリアを代表するフェミニスト詩人、ダーチャ・マラーイーニの翻訳で知られる望月紀子さんが、今年3月、未来社から『ダーチャと日本の強制収容所』(2200円+税)を出版しました。ダーチャは昭和13年の暮れ、両親と来日したものの、敵国人の扱いとなり、現在の名古屋市中白区にあった抑留所に入れられました。翻訳を通して長年ダーチャさんと交流を続けてきた著者は、その収容所体験を元に「苛酷な歴史を知って欲しい」と本書を執筆。ノーベル文学賞候補と目されている世界的な女性作家の半生の魂に触れる傑作です。

GRAPH 2015の一般公募部門で入選、7月に大阪、8月に東京の富士フィルムフォトサロンで展示







**お願い**

平成27年度在京白聖会会費未納の方は、  
同封の振替用紙にて年会費2,000円  
のお振込みをお願いいたします。  
なお、すでにお支払い済みの方に振替用  
紙が届きましたら、ご容赦下さい。



馬場 信『AKIBAノート』  
産報新書 1,200円+税

●馬場信さん(S41卒)  
『AKIBAノート』(第二集)刊行  
馬場信さんが『AKIBAノート』  
『第二集』を8月に出版。「今、日  
本で注目を浴びる、秋葉原」発信コ  
ラムは、ますます切れ味を増し、  
秋葉原から世界を展望した話題が  
ぎゅっと詰まっています。



建倉圭介『ブラックナイト』  
光文社 1,800円+税

●建倉圭介さん(S46卒・Nさん)  
『ブラックナイト』刊行  
S46卒で横溝正史賞受賞作家(第  
17回)の建倉圭介さんが5月、光  
文社から希望の新作『ブラックナ  
イト』を上梓。表題の「ブラック  
ナイト」は「ホワイトナイト」に  
対する言葉で、住宅産業を舞台と  
した企業ミステリーです。とにか  
く読み出したら止まらなくなる面  
白さ。秋の夜長にどうぞ。

ア・ラ・カルト